



株式会社どんぐり電力

取得について

再生可能エネルギー事業のグループ内提供と
収益拡大に向けて

2026年3月

株式会社 海帆



AGENDA

アジェンダ

01 取得の背景

02 取得の目的

03 現在の事業スキーム

04 グループ内提供による経済的効果

05 将来的な事業拡大

06 まとめ

取得の背景

KRエナジー1号合同会社の現状

2023年5月22日

グローバルIT企業との長期売電契約（PPA）締結

2025年8月8日

契約期限延長合意

開発規模

合計 31.350MW-DC / 16.397MW-AC の Non-FIT低圧太陽光発電所を開発中

現在の課題：外注コストの発生

現在、3社の小売電気事業者に業務を外注しており、発電予測やインバランス管理にコストが発生。

年間外注コスト： **約3,594万円**



Non-FIT太陽光発電所イメージ

取得の目的

株式会社どんぐり電力の取得により
外注サービスをグループ内で提供



発電予測のグループ内提供

精度の高い予測モデルを自社運用し、計画値と実績値の乖離を最小化



インバランス管理

需給調整コストを内部でコントロールし、無駄な支出を削減



アグリゲーション

複数の発電所を束ねて最適制御するサービスを自社で完結



事業収益の改善

長期的かつ安定的な利益確保



再エネ事業の発展

戦略的事業としての基盤強化

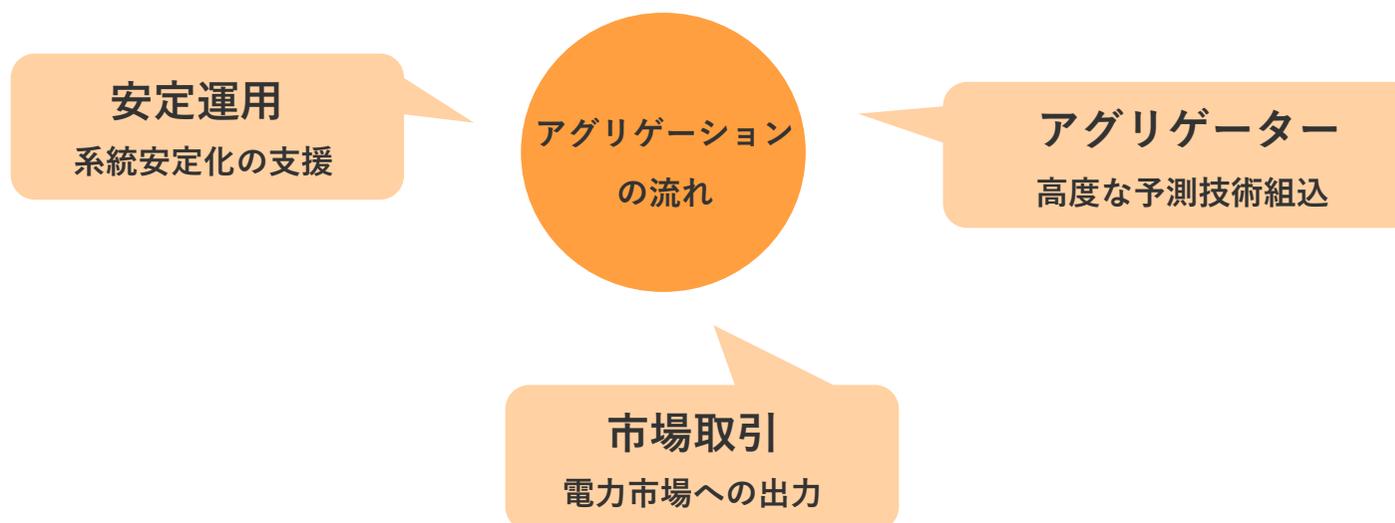


企業価値の向上

持続可能な成長への寄与

現在の事業スキーム

太陽光発電をはじめとする小規模・分散型再生可能エネルギー発電所を束ねる（アグリゲーター）ことで、あたかも一つの大規模発電所のように運用しています。
 これにより、電力市場での取引や電力系統の安定運用を効率的に支援します。



高度なAI予測技術を活用し、予測発電量と実発電量の差（インバランス）を極限まで抑制します。
 これにより、再生可能エネルギーの不確実性を克服し、安定的な電力供給と市場価値の最大化を実現しています。

経済的効果

前提条件：年間発電予測量（16.397MW-AC相当）

35,945,571 KWh

区分	単価 (円/KWh)	年間コスト
外注（現状）	1.0 円	約 3,594 万円
グループ内提供（取得後）	0.5 円	約 1,797 万円



年間コスト削減効果

▲ 約 1,797 万円

（単価 ▲0.5円/KWh の改善）

PPA契約期間（20年間）の
累計収益改善効果

約 3億6,000 万円

※取得費用を差し引いても大幅なプラス効果

将来的な事業拡大



01

系統用蓄電池事業

取得したアグリゲーション機能を活用し、
系統用蓄電池事業へ参入。

電力需給調整市場での収益化を目指します。



02

再エネアセット拡大

再生可能エネルギーアセットのさらなる取得・稼働を推進。

自社電源比率を高め、安定的な収益基盤を構築します。



03

企業価値の向上

アグリゲーションサービスの拡大と事業収益の最大化により、

海帆グループ全体の企業価値向上に大きく寄与します。

小売電気事業者としての競争力強化

外注依存からの脱却により、エネルギー事業の自立と成長を実現

まとめ



大幅なコスト削減

グループ内提供により年間約1,797万円の
コスト削減を実現

20年間で約3.6億円
の収益改善効果



事業のグループ内提供

外注依存から脱却し、
発電予測・インバランス管理の

ノウハウを自社に蓄積



将来的な事業拡大

系統用蓄電池や
アグリゲーションサービスへの

事業展開の基盤を構築

再生可能エネルギー事業の収益最大化と企業価値向上へ